

# 大学図書館問題研究会 京 都

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町 34 京都橘女子大学図書館 田北十生気付  
(Tel) 075-574-4118 (Fax) 075-574-4124

## 京都支部研究集会開かれる！

テーマ「京大図書館新システムの構築は如何にしてなされたか」

—主として目録ワーキングの活動から見て—

1998年6月20日(土) 於 芝蘭会館

京都支部主催の研究集会は、大阪、兵庫、東京支部の会員の参加もあり、24名の参加となりました。京大図書館の新システム構築、主として目録ワーキンググループの活動について報告を受け、討議が行われました。

まず基調報告は、京大図書館新システムの目録ワーキンググループの中心的役割を果たしてこられた澤井氏より、京大図書館の概要、歴史的経過、図書館管理の特徴、そして新システムについて報告を受けました。続いて、同じく目録ワーキンググループの赤井氏より「京大における新CATクライアントの開発事例紹介」が行われました。

討論の中では、京大の会員から苦労話も出されました。参加者は京大の特殊性を考慮しながらも、各の大学の条件をこえて、共通してなにを学ぶかを真剣に討論されました。

特にメーリングリストの活用は、いずれの大学でも、なにかを取り組む時に、構成員への情報伝達や意思統一に非常に有効であることが確認されました。また、その中で、さらに工夫して専用のホームページを作成した経験は、学ぶところが多かったように思えます。メーリングリストとホームページの併用は、速報性と系統性の両面から相互理解・情報の共有という点で非常に大切に重要な役割を果たしてきたという経験は、今後私たちがなにかを取り組む場合、共通して考えなければならない重要な点ではないでしょうか。

全構成員を対象にした大きな取り組みであればあるほど、同レベルの情報共有ということが難しくなり、そのことが足並みの乱れを生じたり、構成員の智慧と力を引き出し得なかつたりしがちですが、この問題の克服に大きな役割をメーリングリストとホームページが果たしたという教訓は重要に思えます。勿論、構成員一人一人に端末が準備されていることが前提条件ではありますが。

目次	京都支部研究集会開かれる！……………1頁
	研究集会の感想を頂きました！……………2頁
	ホームページとメーリングリストの活用……………3頁
	第21回支部総会開催さる……………6頁
	第10回支部委員会の報告……………10頁
	連載小説(9)リュウ……………11頁
	数珠つなぎ(29)……………12頁

ご意見・ご要望、投稿はメール、又はFAXで  
編集気付:(kazuodesu@ma2.justnet.ne.jp) 田北まで

## 京都支部研究集会の感想を頂きました！

京都大学付属図書館の新システムを十分知らずの拝聴でしたので、一般的な理解に留まっている小生ですが、基本となる、利用者のニーズに基づく全館員、関連部局の館員の声を基礎にボトムアップでの方法はOJTを兼ね備えた有効な方法だと思います。

このごろ、効率化を求めすぎ、トップダウンまたはプロジェクト方式による企画策定などが増えている政策下にあつて弱点も出ています。民主的職場づくり、職場の集団化・共同化による基盤を基礎に図書館運営、図書館サービス等は、利用者に応える大学図書館員の役割ではないかと考えます。

メールを使つての情報の共有化をなされることは非常に大切であり、京大ならではの思ひます。

研究集会の開催は日常のテーマを取り上げ、気軽に開催することも必要です。ニーズがその基礎（内容）であります、時期を逸せずトピック的にテーマを設定し取り組むのも良いと思ひます。

そうすれば、獲得目標をもう少し絞つていけるのではないかと思ひます。

(立命館大学国際平和ミュージアム 若井 勉)

システムのリプレースに際して、メーリングリスト・ホームページの活用による連絡体制の確保、Q&Aの共有といった試みは参考になりました。

(大阪支部 村上健治)

メーリングリストで個々の問題に対応するというシステムは、東大でも対応するようになるかと思ひますが、自分の抱えている問題をメールの形に整理できる職員は良いのですが、それが困難な職員もいるのではないかと自分のことを思うと考えます。なにが起ころうとしているのか知りたいと思つて、参加したのですが東大では、京大ほど緻密に考えられているとは思へませんし、集中化もどの程度追求可能なのか、現在部局事務統合に図書館がどう対応するのかが問題になっている状況で、その中で支払システムの統一が図られるのではないかと予想している程度です。

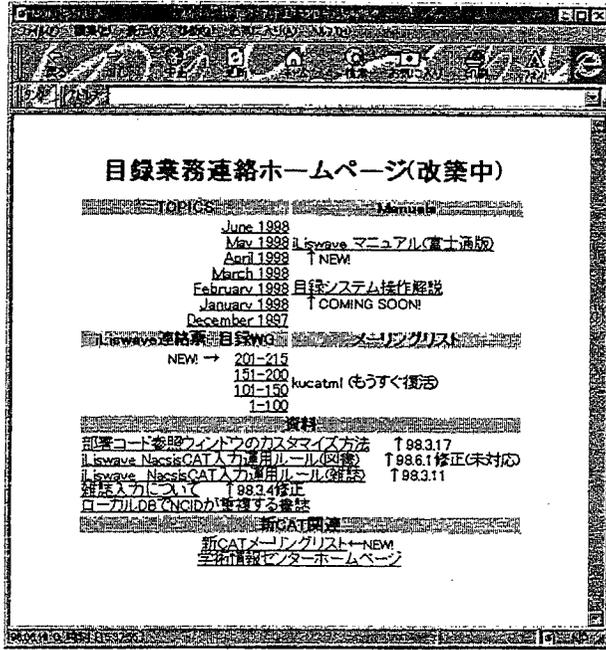
(東京支部 新居弥生)



## ホームページとメーリングリストの活用

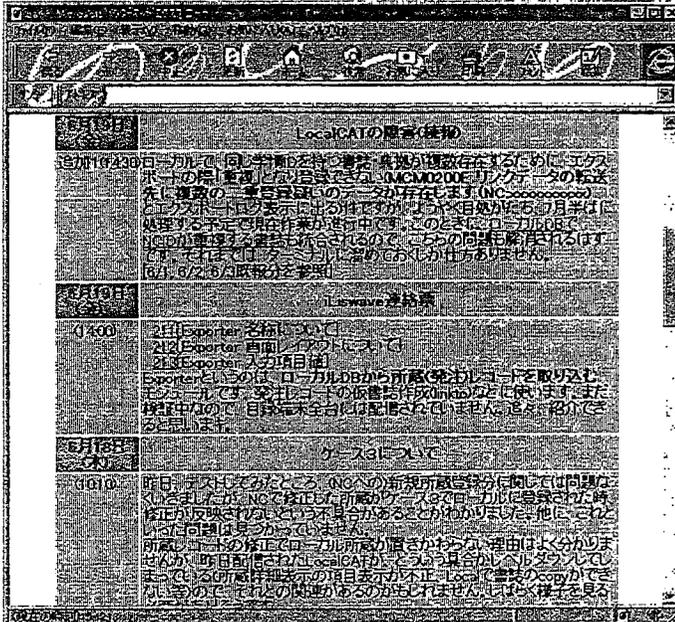
ネットワーク環境を活かした、連絡・広報手段として、ホームページを利用

- TOPICSではシステムのバージョンアップなど新しい情報をすぐに
- マニュアルの提供
- 富士通と質問・要望等をやりとりする連絡票の公開
- 新CAT関連の資料の公開(CATP MLなど)
- 目録メーリングリストの過去記事の閲覧



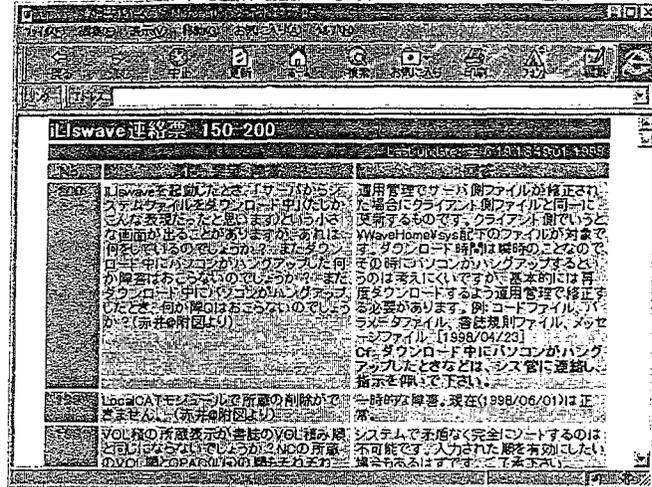
トップページ

## TOPICS



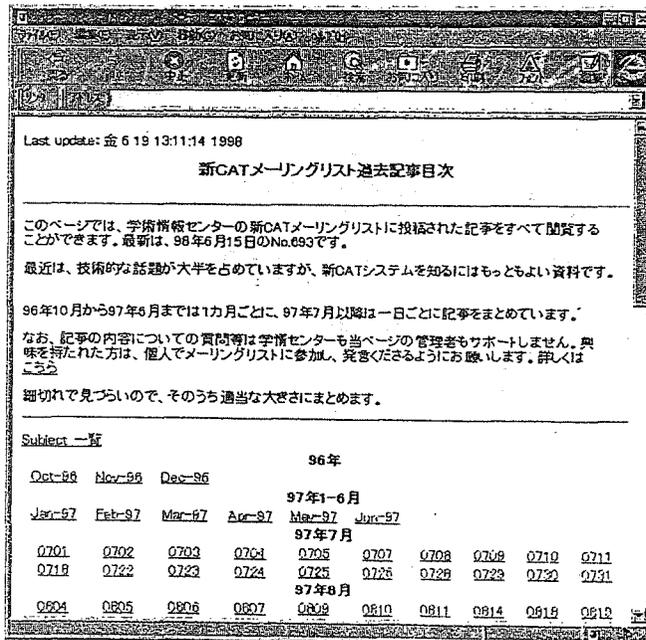
### iLiswave 連絡票 (一部)

富士通に対する質問や要望と、それに対する回答  
 現在 215件発生  
 システムが作り込まれていくプロセスがよく分かる



### 学情新CATメーリングリスト

NACSISのホームページよりもくわしく新CATシステムについて  
 することができる



## メーリングリスト

概要:

設立 1997.8.20  
 参加者数 155名  
 投稿件数 482件 (1998.6.19 現在)

現状:

業務連絡をはじめとする、基本情報の公開  
 少人数職場、遠隔地との連絡がスムーズかつ円滑に  
 新システムの障害報告、疑問にたいする迅速な対処を可能に  
 ノウハウの交換など

今後の課題:

○公開討論の場として

システムの安定化、業務の組立かたの工夫、図書館のあり方

実用的知識・経験の交流 よりソリッドに、発展的なものへ

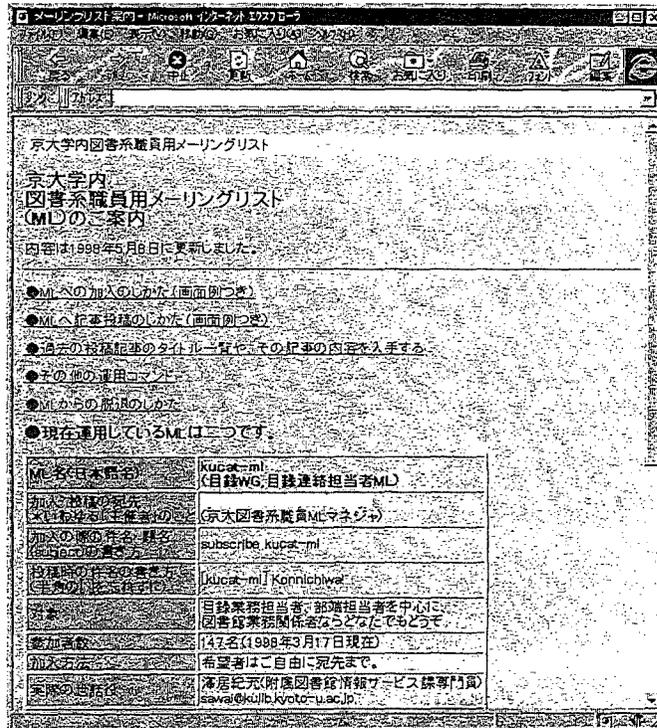
業務の枠を超えた知識経験の交流 図書館全体を視野に

\*現在ではILLも同様にメーリングリストを開設 (1998.3.4開設 47名 69+51件)

参加者の「自己展開」主体性の確立

ネットワーク環境の利点をどこまで有効利用できるか

今後の可能性として、BBSやICQをなど...?



# 大学図書館問題研究会

## 第21回京都支部総会開催される！

事務局長 大館和郎

7月17日(土)午後6時半より京大会館にて第21回支部総会が開催されました。支部委員を含め計12名の参加にとどまりましたが、幅広いテーマにわたって意見の交換ができました。

**第1号議案「1997年度活動総括及び1998年度活動方針」**についてはメーリングリスト・支部報・支部の活動形態のあり方など会員間のコミュニケーションの場を充実させるための方策について意見の交換ができました。

今年の4月に開設された京都支部メーリングリスト「ゆりかもめ」は徐々に登録者数が増えています。さらに登録者数を増やすために、速報性など「ゆりかもめ」の効用について宣伝する必要があるという意見が出ました。

支部報連載の「数珠つなぎ」については継続するという方針が確認され、実務的な記事や実践報告を増やしてほしいとの要望に応じていくことになりました。執筆者が固定化しつつあり、新しい執筆者の開拓が必要との意見に対して、固定化しても記事内容が良ければかまわないという意見が出るなどしました。

支部の活動形態のあり方としては例会的なものを年3回ぐらい開けたらという提案が出されました。但し準備に負担の大きい時間のかかるものは避け、交流会を兼ねた見学会のようなものから始めたらという意見が出ました。

京都支部の会員数は伸び悩んでおり、近年新入会員の少ないことが指摘され、会員獲得の方策がいろいろ話し合われ、支部委員は加入申込書を常時所持し、積極的に勧誘に努めてはどうかという意見が出ました。

研究活動のあり方についても多様な意見の交換が行われました。その中で資料研究の重要性が指摘されるとともに、継続することも大事であるとの意見が出ました。ただ国立大学は異動がないので継続研究が可能だが、私立大学は異動があるので難しいという図書館職員をめぐる国立と私立の状況の違いが浮き彫りにされました。

**第2号議案「1997年度決算報告及び会計監査報告／1998年度予算」**については以下の報告がありました。

1997年度決算の収入の内、経常収入は5割、あとの5割は繰越金収入である。京都研究集会は赤字になった。一般会計からの特別事業基金への繰入は無しとする。特別事業基金については昨年度、なぜ必要なのか説明不足であり、具体的な目標が必要であるとの指摘がありましたが、これはいざなにか事業をする時に、資金不足にならないようにとい

うことで、性急に使い道を考えるのではなく、まず研究成果を挙げる必要があるとの説明がありました。

## 1997年度決算

(1997.7-1998.6)

総収入	総支出	差引残高
321,919	225,373	96,546

## 収入の部

項目	予算	決算	増減	備考
繰越金	156,942	156,942	0	
1997年度会費	153,000	144,500	-8,500	85名
1996年度会費	17,000	8,500	-8,500	5名
1994年度会費	0	1,700	1,700	1名
支部活動援助金	10,000	10,000	0	97年度分
雑収入	0	277	277	利息
合計	336,942	321,919	-15,023	

## 支出の部

項目	予算	決算	増減	備考
会報	60,000	49,890	10,110	
(内訳) 印刷費	18,000	9,400	8,600	
郵送費	36,000	35,810	190	
通信費 等	6,000	4,680	1,320	
研究交流集会費	90,000	63,164	26,836	
(内訳) 新春合同支部例会	20,000	0	20,000	奈良開催
交流集会	20,000	0	20,000	
京都研究集会	20,000	33,429	-13,429	98.6.20
三二研究集会補助	20,000	20,500	-500	97.7.5
支部総会	10,000	9,235	765	97.9.26
全国委員会補助	30,000	30,000	0	10,000×3
特別事業基金繰入	80,000	80,000	0	
事務費	4,000	2,319	1,681	
予備費	71,942	0	71,942	
雑費	1,000	0	1,000	
合計	336,942	225,373	111,569	

あそ...



## 1997年 特別事業基金 決算

項 目	予 算	決 算
繰越金	700,000	700,000
1997年度繰入	80,000	80,000
合 計	780,000	780,000

## 1998年 特別事業基金 予算

項 目	予 算
繰越金	780,000
1998年度繰入	0
合 計	780,000

1997年度大学図書館問題研究会  
京都支部会計監査報告

現金・預金通帳・領収書等の管理は適正におこなわれていました。

1998年7月8日

末益尚 

福申京子 

## 1998年度予算

(1998. 7 - 1999. 6)

## 収入の部

項目	予 算	備 考
繰越金	96,546	
1998年度会費	136,000	80名
前年度未納会費	17,000	10名
支部活動援助金	10,000	
合計	259,546	

## 支出の部

項目	予 算	備 考
会報	54,000	
(内訳) 印刷費	14,000	
郵送費	40,000	
研究交流集会費	70,000	
(内訳) 新春合同支部例会	20,000	
交流集会	20,000	
京都研究集会	20,000	
支部総会	10,000	
全国委員会参加補助	30,000	10,000x3
事務費・通信費	10,000	
次年度繰越金	94,546	
雑費	1,000	
合計	259,546	

**第3号議案「1998年度支部役員選挙」**について。堤支部委員の後任については、後日京大から出すということで、当面は7名体制でいくことになりました。

7名の支部委員は下記の通りです。

篠原俊夫 (京都大学総合人間学部図書館) E-mail (職場) shino2@sanko.stdlb.h.kyoto-u.ac.jp  
(自宅) ma10064u@mal.seikyuu.ne.jp

竹本文夫 (元同志社大学人文科学研究所図書室)

大館和郎 (京都学園大学図書館) E-mail (職場) odate@kyotogakuen-u.ac.jp

中嶋スエ子 (京都大学工学部航空宇宙工学図書室)

E-mail (職場) nakajima@vib.kuaero.kyoto-u.ac.jp

井上雅人 (立命館大学図書館情報管理課) E-mail (職場) mio01754@kic.ritsumeai.ac.jp

呑海沙織 (京都大学電気電子工学系図書室) E-mail (職場) djdonkai@kuee.kyoto-u.ac.jp

田北十生 (京都橘女子大学図書館)

E-mail (職場) takita@mx.tachibana-u.ac.jp

(自宅) kazuodesu@ma2.justnet.ne.jp

会計監査 堤 豪範 (京都大学理学部中央図書室)

那須たみ子 (京都大学理学部中央図書室)

全国委員 篠原俊夫 (前出)

## 第10回支部委員会の報告

日時 1998年7月7日(火)

会場 同志社大学クローバーハウス1F 読書室(午後7時～9時)

出席: 篠原、竹本、堤、中嶋、田北、井上、大館 欠席: 呑海

### 【報告事項】

1. 会員情報 ・現在の支部会員数92名
2. 財政情報 ・審議事項3(1)参照
3. 「ゆりかもめ」運用状況 ・登録者数 33名(1998年7月7日現在)
4. その他・堤委員が事情により、次年度支部委員を辞退することになった。

### 【審議事項】

1. 支部報について
  - 1) 7・8月合併号について
    - ・「数珠つなぎ」は執筆者が一巡し、継続が困難になりつつあるため終結する。
  - 2) 9月号について
    - ・全国大会報告/広庭さんの本の紹介
  - 3) 「ゆりかもめ」上での発言内容の利用について
    - ・内容をピックアップした上で支部報に掲載することを検討。
    - ・発言者の許可を得る必要がある。
2. 第6回大学図書館員京都研究会(1998年6月20日)総括
  - 1) 参加者数 ・24名で当初の見込みの通り。
  - 2) 会計 ・会場費が見込みを大幅に上回り13,429円の赤字になった。
  - 3) 内容
    - ・こういうシステムの発表ではOHPなどで実際の画面が一目でわかるように見せる工夫が必要である。今回の会場ではそういう設備を利用することが出来なかった。
    - ・主催側の意図(システム構築のプロセスの普遍的側面に学ぶ)と参加者の期待(システムの技術的側面)がすれ違った。
    - ・京大の特殊性が表に出すぎて、普遍的な面を引き出すという当初の意図が実現しなかった。
3. 支部総会(1998年7月17日 京大会館 18:30～21:00)について
  - 1) 1997年度決算(案)について
  - 2) 1998年度予算(案)について
    - ・通信費を事務費に吸収するとともに会費督促は事務費へ入れる。
    - ・特別事業基金繰入は無しにする。
    - ・予備費を繰越金に改める。
  - 2) 次年度支部委員について
    - ・堤支部委員の補充としては、とりあえず京大から候補者を出すという方向で話を進めることになった。
4. 全国大会議案書について
5. 次回支部委員会 1998年9月8日(火)

## リ ュ ウ



作 西田 治

目の前に差し出されたのは高島屋のチラシだった。ペンダントトップのダイヤ、0.4カラット、39,000円。

「今朝の新聞に入ってたの」

「ふうーん」

「これ買って！この前の店より大きいのに4千円しか違わないのよ」

僕は、ダイヤの話はもう終わったと思っていたのに、なんで今日に限ってこんなチラシが入るんだと思い、ため息が出た。

「買ってくれるの？」と僕の顔をのぞき込む。

「そんなに欲しかったら、自分で買ったらいいじゃないか」と僕は譲歩したつもりで言った。「小遣いあるんだろう？」

「うん」

「じゃ買ったらいいじゃないか」

しかし、圭子は当惑したような面もちで黙っていた。

「そんなお金あるんだったら、僕のの小遣い増やしてよ」と淳一が口を挟んだ。

「何言ってるのよ。お母さんだって小遣い必要なんだから」

「ネックレス一杯持ってるくせに。僕だって欲しいプラモデルがあるんだ」

「あんた、自分の小遣いはどうしたのよ？」

淳一は、一瞬怯んだ。

「お菓子買ってたべたの。美穂には全然くれなかったの」と美穂は淳一をにらみ付けていった。

「僕には、たった五百円のくせして」

「うるさい！それで充分よ。大人の会話に子供が口出しするな！」

「あぁあ！すぐこれだもんね」と淳一はイスから立ち上がるとテレビの前に行って、寝転がった。そんな淳一を目で追っていた圭子が、僕の方に視線を向けて言った。

「あんたは、女性の気持ちというものがわからないの？自分で買うなんて、どんなにわびしいものか知らないのよ。安物だって、買って貰ってこそ嬉しいのよ。友達からどうしたのと聞かれて自分で買ったって言うの寂しすぎると思わない？主人に買って貰ったというのと大違いよ。わかる？」

「じゃ、買って貰ったって言えばいいじゃないか」と僕は一応反論したが、心では多少動揺していた。

「嘘なんて、云えないわよ」

しばらくして圭子が独り言のようにぼそりと言った。

「そうか……」と僕は、圭子に同情して言った。すると圭子が急に顔をほころばして「じゃ、買ってくれるの？」と言った。僕には、その生き生きした顔が何とも美しく見えた。

(次号に続く)

